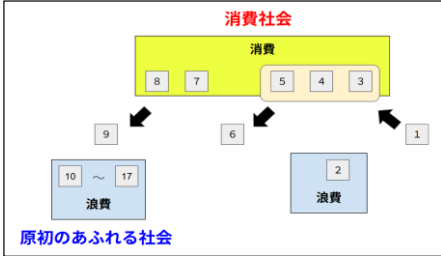


Google スライド上で、段落ごとの並べ替えを行う。



段落構成図(例)
四角や矢印といった図形を用いながら整理してよいことを伝えておく。

活用場面

一斉学習
教師による教材の提示

個別学習
思考を深める学習

協働学習
発表や話し合い
協働での意見整理
協働制作

活用した機器等

Chromebook
プロジェクター

活用したアプリ等

Google Classroom
Google スライド

学習のねらい

Google スライドを用いて段落構成図を作成し、それを他者と共有・比較することで、文章の構成や論理の展開をより深く読み取る。

学習の流れ

導入 本単元の題材である『浪費を妨げる社会』の本文の内容を確認する。

展開

- ①「順番が入れ替えられた形式段落を正しい順に並べ替える」という課題に対して、Google スライド上で、接続詞や指示語に着目しながら並べ替えを行う。
- ②正しい順に並べ替えた形式段落をもとに、段落構成図として、段落相互の関係をGoogle スライド上で個人で作成する。
- ③個人で作成した段落構成図をグループ内で共有し、文章の構成や論理の展開を読み取る。
- ④グループ内で段落構成図を作成する。

まとめ 段落構成図をもとに、筆者の主張についてワークシートにまとめる。

ここでICTを活用！

- ・教員がGoogle スライド上で、形式段落ごとにテキストを作成し、その順番をランダムに配列したものを、Google クラクルームを通じて配付する。
⇒Google スライドを用いることで、紙媒体では行うことが難しかった「形式段落の並べ替え」活動が可能になる。
- ・各生徒がGoogle スライド上で、四角や矢印といった図形を用いながら段落相互の関係を整理する。
⇒図形の移動・拡大縮小・色分け等が可能になり、構成図の作成にあたっての試行錯誤がスムーズになる。
- ・共同編集機能を用いてグループで1つの段落構成図を作成する。
⇒議論しながら作業を行うことができる。
⇒他の班の図と適宜見比べることができる。

活用のメリット、実践の工夫・振り返り等

- ・Google スライド上で、線や矢印、図形等を用いて、段落構成図を作成することで、文章全体を俯瞰的に捉えることをねらいとした。その活動により、これまでは文章の要旨をまとめる際に「重要な段落だけに着目」していた生徒が、「段落相互の関係にも着目」しながら要旨をまとめることができるようになり、作品のより深い理解につながった。
- ・段落相互の関係をどう読み取ったかや、「対比」や「因果」等の概念をどのように表現しているかをグループで共有した後、グループで段落構成図を作成した。グループで作成した段落構成図のみではなく、個人で作成した段落構成図も併せてGoogle クラクルームで確認することで、生徒の思考の変容を見取った。